

信憑性チェックツール 操作マニュアル

第 1.2 版

2019 年 9 月

目 次

第 1 章 本書の目的および機能概要	1
1.1 本書の目的	1
1.2 機能概要	1
第 2 章 作業フロー	2
第 3 章 画面構成	3
3.1 メイン画面構成	3
3.2 メニュー構成	4
3.3 機能概要	5
3.3.1 [ファイル]・[すべて選択]	5
3.3.2 [ファイル]・[すべて選択解除]	5
3.3.3 [ファイル]・[最新の情報に更新]	5
3.3.4 [ファイル]・[信憑性チェックの実行]	5
3.3.5 [ファイル]・[終了]	6
3.3.6 [設定]・[各種設定]	6
3.3.7 [ヘルプ]・[ヘルプ]	6
3.3.8 [ヘルプ]・[バージョン情報]	6
第 4 章 信憑性チェック結果（CSV ファイル出力仕様）	7

第1章 本書の目的および機能概要

1.1 本書の目的

- ・本書は『信憑性チェック DLL』を利用したチェックツールの操作マニュアルとします。
- ・実際の画面とはデザインが異なる場合があります。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止します。

1.2 機能概要

- ・本ツールは、『信憑性チェック DLL』を利用して実際に指定した写真ファイルをチェックします。
- ・チェックした結果に基づき、OK、NG フォルダにファイルを振り分けた上で CSV ファイルにチェック結果を書き出します。
- ・動作環境は以下の通りとします。
対象 OS : Windows 7 SP1 以降

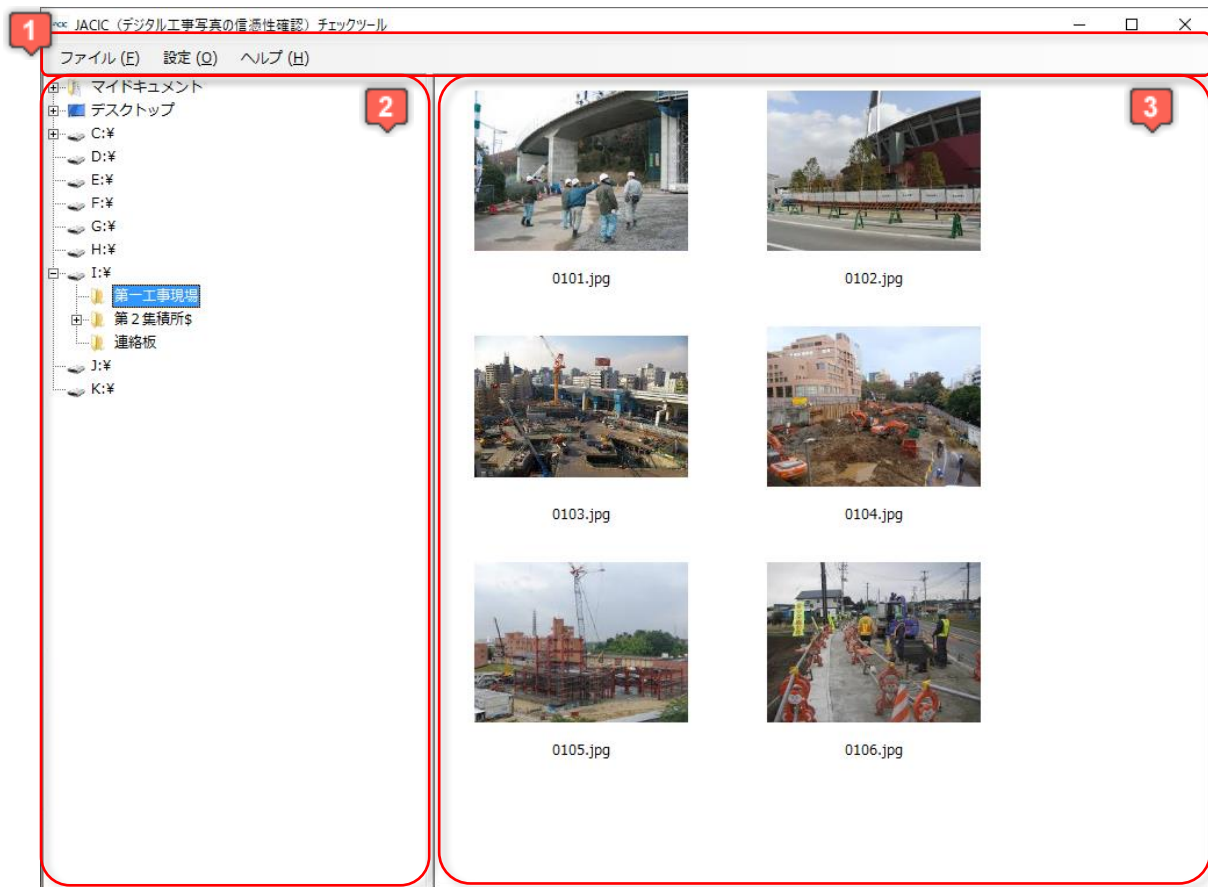
第2章 作業フロー

本ツールを使用して「信憑性チェック」は以下のフローで作業を行います。



第3章 画面構成

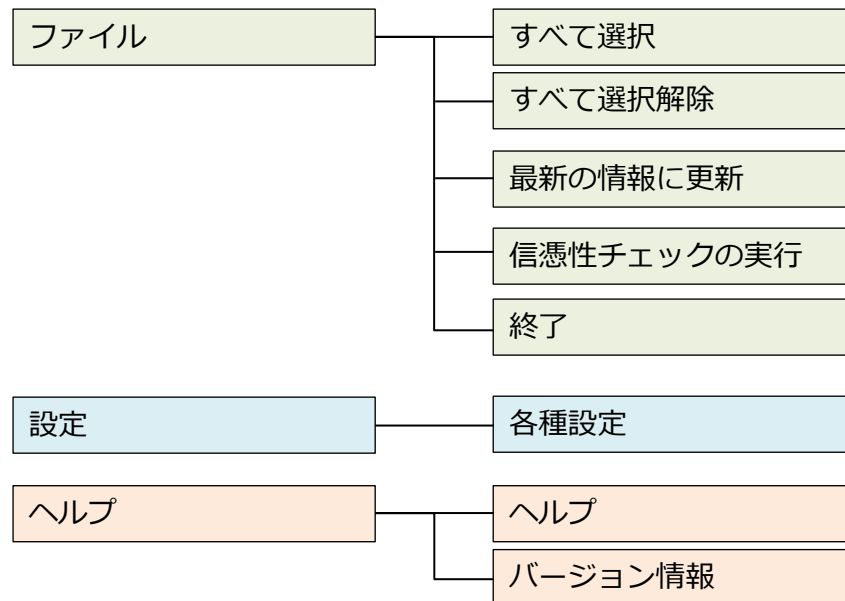
3.1 メイン画面構成



No.	コントロール	コントロール概要
1	メニュー領域	プルダウンメニューより操作を選択します。 ※詳細は「3.2.メニュー構成」を参照願います。
2	フォルダ選択領域	使用している機器のドライブおよびフォルダがツリー構造で表示されます。
3	イメージ選択領域	選択したフォルダに格納してあるイメージファイルのサムネイルが表示されます。 「信憑性チェック」を実施する対象イメージを選択します。

3.2 メニュー構成

メニュー領域の構成は以下の通りとなります。



<ショートカットキー>

メニュー	ショート カットキー	機能
ファイル(F)		
すべて選択(A)	Ctrl+A	サムネイル表示部の写真をすべて選択する。
すべて選択解除(S)		サムネイル表示部の写真をすべて非選択にする。
最新の情報に更新(R)	F5	フォルダ表示部やサムネイル表示部を最新の状態に更新する。
信憑性チェックの実行(G)	Ctrl+G	選択された写真について信憑性チェックを実行する。
終了(E)		信憑性チェックツールを終了する。
設定(O)		
各種設定(C)...		初期表示フォルダとログ(実行結果)出力フォルダの設定画面を表示する。
ヘルプ(H)		
ヘルプ(H)...	F1	簡易説明書を表示する。
バージョン情報(V)...		バージョン情報ダイアログを表示する。

3.3 機能概要

3.3.1 [ファイル]・[すべて選択]

イメージ選択領域に表示されているイメージをすべて選択状態にします。

3.3.2 [ファイル]・[すべて選択解除]

イメージ選択領域で選択されているイメージを選択解除します。

3.3.3 [ファイル]・[最新の情報に更新]

フォルダ選択領域、イメージ選択領域を最新情報に更新します。

3.3.4 [ファイル]・[信憑性チェックの実行]

イメージ選択領域で選択されているイメージについて「信憑性チェック」を行います。
チェック時には以下の処理を行います。

- ①選択されたフォルダ配下に “ HashCheck_yyyyMMddHHmmss ” フォルダ
及びその配下に “ OK ” “ NG ”フォルダを作成します。

※作成例

(選択されたフォルダ)

```
+ ¥HashCheck_20190826151955
|   + ¥OK
|   + ¥NG
```

- ②イメージ選択領域で選択されているファイルの信憑性チェックを行います。

チェックの結果「正常」な場合は “ OK ”フォルダへファイルを移動します。

チェックの結果「異常」な場合は “ NG ”フォルダへファイルを移動します。

※チェック処理を行っている最中は進捗表示がされます。

キャンセルボタンを選択することで処理を中断することが出来ます。

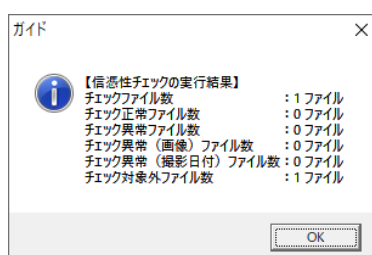
中断した場合はチェック途中までのファイルの移動、結果ファイルの出力がされます。

- ③「ログ出力先」へ信憑性チェック結果を出力します。

※「ログ出力先」については「3.3.6.[設定]・[各種設定]」を参照願います。

※信憑性チェック結果については「第 4 章信憑性チェック結果 (CSV ファイル出力仕様)」
を参照願います。

- ④チェックがすべて終了した場合に「信憑性チェックの実行結果」が表示されます。

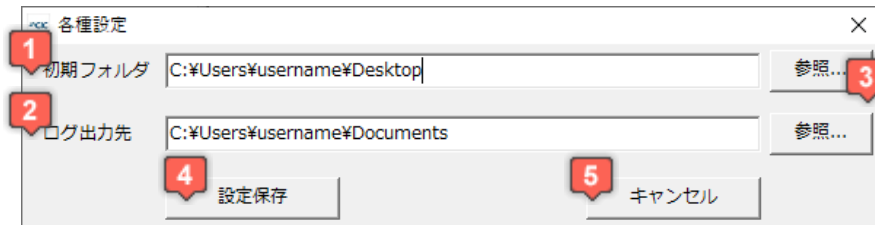


3.3.5 [ファイル]・[終了]

本ツールを終了します。

3.3.6 [設定]・[各種設定]

各種設定を行います。



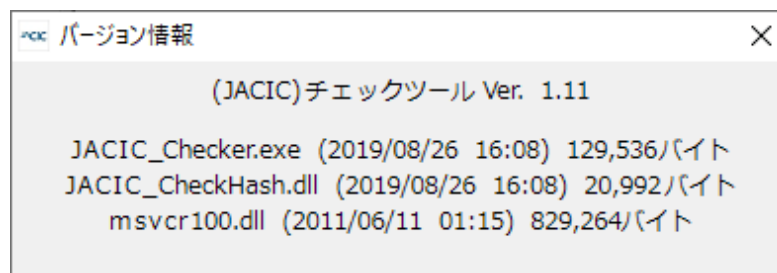
No.	コントロール	コントロール概要
1	初期フォルダ	起動時に初期表示するフォルダを指定します。
2	ログ出力先	「信憑性チェック」の実行時に結果ファイルの出力先を指定します。
3	参照	フォルダ選択画面より各フォルダを選択します。
4	設定保存	指定した項目を保存してメイン画面へ戻ります。
5	キャンセル	指定した項目は保存せずメイン画面に戻ります。

3.3.7 [ヘルプ]・[ヘルプ]

本書（操作説明書）を表示します。

3.3.8 [ヘルプ]・[バージョン情報]

本ツールのバージョン情報を表示します。



第4章 信憑性チェック結果（CSV ファイル出力仕様）

「信憑性チェックの実行」を行った際には設定されているフォルダ(*1)に信憑性チェック結果が出力されます。出力されるファイルは以下の通りとなります。

【出力ファイル名】

(選択中のフォルダ名)_HashCheck_yyyyMMddHHmmss.csv

※yyyyMMdd は日時を、HHmmss は時分秒を表します。

【出力ファイル形式】

文字コード：SJIS

出力タイミング：1 回のチェック実行で 1 つのファイルを出力する。

【出力フォーマット】

<ヘッダレコード>

先頭行のみ出力されます。

No.	項目名	項目内容
1	チェック日時	固定文字「チェック日時」を出力
2	チェック結果	固定文字「チェック結果」を出力
3	フォルダ名	固定文字「工事名」を出力
4	ファイルパス	固定文字「ファイルパス」を出力

※各項目は区切り文字「,」（カンマ）で区切り出力されます。

<データレコード>

1 ファイルのチェックで 1 レコードが出力されます。

No.	項目名	項目内容
1	チェック日時	チェック日時が、「yyyy/MM/dd HH:mm:ss」の形式で出力されます。
2	チェック結果	チェック正常時は「OK」、 チェック異常時は「NG」が出力されます。
3	フォルダ名	ユーザーが選択中のフォルダ名が出力されます。
4	ファイルパス	写真のファイルパスが出力されます。

※各項目は区切り文字「,」（カンマ）で区切り出力されます。